



暑寒別川

流域に多くの恵みを与える
豊かな水量を誇る二級河川

暑寒別岳(標高1492m)を源流とする河川は北の方角へ暑寒別川、箸別川、信砂川、東へは恵岱別川、尾白利加川、西南に徳富川があり、豊かな自然を形成しています。暑寒別天売焼尻国定公園内を流れる暑寒別川の本流は増毛町市街地を流れ、やがて日本海へと流れ込みます。

暑寒別山系は最高峰の暑寒別岳をはじめ、群別岳、南暑寒岳などの山々が連なり、このうち南暑寒岳の東側には大小150もの池塘(ちとう)が点在する雨竜沼湿原が広がっています。標高約850mの恵岱別溶岩台地上に発達したこの湿原は東西2km、南北1kmにわたって広がる山岳型高層湿原で、中央部をペンケペタン川が東西に蛇行して流れ、水面上には浮島も見られます。ここを発するペンケペタン川は落差約36m、幅約5mの飛瀑、白竜の滝を經由して、尾白利加川に合流しています。

一方、雄冬、岩老方面は雄冬山や天狗岳などの山塊が日本海に迫る海岸は、100m前後の断崖が海に面し、河川も数kmの短い川が何本かあるだけになっています。

暑寒別川はサケの遡上する川としても知られ、毎年9月下旬～10月中旬、河口付近ではふるさとの川に帰るサケの姿が観察できます。暑寒別岳、そして、暑寒別川の豊かさが雨竜沼湿原を形成し、その豊富な水量で地酒醸造や果樹栽培など、この地域に多くの恵みを与えています。

見どころ

平成17年(2005年)にラムサール条約登録指定湿地となった雨竜沼湿原は、東西2km南北1kmにわたって広がる湿原で、広さは約100ha。約3.8kmの木道が整備され、約150種もの植物や池塘を眺めながら一周することができます。

ポイント

暑寒別川の豊かな水は私たちの暮らしに多くの恵みをもたらしています。増毛町の國希酒造は暑寒別岳の伏流水を仕込みに利用している銘醸で、増毛の特産品のリングやさくらんぼがたわわに実をつけるのも、この川の恩恵といえます。

五感で感じる！ 風土資産の魅力



暑寒別天売焼尻国定公園内を流れ、様々な河川と合流し、豊かな水辺を形成している暑寒別川。せせらぎの音を聴いてみましょう。



サケの遡上で知られる暑寒別川。毎年9月下旬～10月中旬に、河口付近でサケの姿を観察することができます。暑寒別川のもたらす自然の営みに触れてみましょう。

■基本情報 (R7. 3)

種別：二級河川
問い合わせ：増毛町役場商工観光課
〒077-0292
北海道増毛郡増毛町弁天町3丁目61番地
TEL:0164-53-3332